

## 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年2月6日

会社名 株式会社セック

(JASDAQ・コード番号：3741)

(URL <http://www.sec.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 矢野 恭一

TEL：(03)5458-7727

責任者役職・氏名 取締役経理部長 秋山 逸志

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとした年間予想税率により計算しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

### 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

#### (1) 経営成績の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	1,743	(0.2)	73	(17.5)	78	(158.4)	48	(233.3)
17年3月期第3四半期	1,746	( - )	62	( - )	30	( - )	14	( - )
(参考)17年3月期	2,373		146		118		66	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	18	88	-	
17年3月期第3四半期	5	93	-	
(参考)17年3月期	26	77	-	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。ただし、平成17年3月期第3四半期より四半期業績の開示を始めたため、平成17年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### [ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、我が国情報サービス業の売上高推移は、平成17年5月以降、最新の確報値であります平成17年11月まで、7ヶ月連続で前年同月比増加となっており、その増加率は総じて高くはないものの、IT需要は全体的には堅調に推移していると判断されます。

しかし、当社の事業領域では、お客様からの値下げ圧力が緩む気配はなく、案件数は堅調に推移して社内の稼働率は高くなっておりますが、これが売上高の増加に繋がらない厳しい状況が継続しております。

当社では、多くのプロジェクトが納期を迎える第4四半期を前にした第3四半期の業績は、第1四半期に次いで比較的低調となる傾向があります。

当第3四半期(10月～12月)は、当社主力のワイヤレスビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)に経営資源をシフトした結果、同BFが大幅増収となったことで、前年同四半期と比較して増収となりましたが、携帯電話端末に新しい要素技術を実装する大型のエンベデッドソフトウェア開発案件の採算が改善せず、また、当案件を含め納期が第4四半期に変更となった案件も複数発生したことにより、前年同四半期比で減益となりました。なお、大型の技術アプリケーション案件に取り組んでいるインターネットBFは総じて堅調に推移していますが、業績安定化に向けて慎

重なる受注判断を継続している社会基盤システムBF、大型案件の開始が遅れて受注範囲を縮小した宇宙先端システムBF、ワイヤレスBFへ経営資源をシフトしたモバイルネットワークBFは、減収となりました。

当社では、イノベーションの成果としてのニューエレメントを核とする主体的ビジネスで高付加価値化を図り、ひいては社員数に制約されない事業成長を実現したいと考え、ビジネスの変革に取り組んでおります。当第3四半期では、第2四半期に製品化を完了した位置情報サービス技術（製品名：airLook）について複数の製品適用案件を受注することができ、またロボットについて独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の委託事業の委託先として採択されるなどの成果が得られましたし、地上デジタル放送（テレビ及びラジオ）関連技術については製品化（開発コード：airCube）の完了を急いでいる状況にあります。その他、携帯電話端末の新しい要素技術に挑戦する中で今後の展開を期待できる技術ノウハウなども得られました。

以上の結果、当第3四半期累計（4月～12月）の業績は、売上高1,743百万円（対前年同四半期比0.2%減）、営業利益73百万円（同17.5%増）、経常利益78百万円（同158.4%増）、四半期純利益48百万円（同233.3%増）と、売上高は微減となりましたが、利益面は期待を下回ったものの改善しました。

## (2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	3,652	3,141	86.0	1,227 17
17年3月期第3四半期	3,567	3,089	86.6	1,206 74
(参考)17年3月期	3,639	3,140	86.3	1,226 86

## 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	71	244	12	1,461
17年3月期第3四半期	8	258	756	1,727
(参考)17年3月期	80	364	693	1,647

## [ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ13百万円増加して3,652百万円となりました。なお、株主資本は3,141百万円となり、株主資本比率は86.0%と前事業年度末とほぼ同水準を維持しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ186百万円減少して、期末残高は1,461百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は71百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益78百万円によるものであります。

投資活動の結果支出した資金は244百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出200百万円、無形固定資産の取得32百万円によるものであります。

財務活動の結果支出した資金は12百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額38百万円、配当金の支払額50百万円によるものであります。

添付資料

（要約）四半期貸借対照表、（要約）四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書

以上

[参 考]

平成18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	2,400 <small>百万円</small>	160 <small>百万円</small>	90 <small>百万円</small>

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 35円16銭

[業績予想に関する定性的情報等]

前述の、納期が第4四半期に変更となった複数の案件は、概ね完了しつつあります。また、地上デジタル放送（テレビ及びラジオ）関連技術の製品化（開発コード：airCube）もほぼ完了の目処がたっております。これらの成果をもとに全社を挙げて来期までを視野に入れた案件受注の拡大に努め、通期業績予想の達成に最大限の努力を傾注して参ります。

（注意事項）

上記に記載した予想数値は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は、今後様々な要因により当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
1.現金及び預金	1,461,326	1,727,900	266,573	15.4	1,647,714
2.売掛金	767,822	697,389	70,432	10.1	787,996
3.その他	108,203	157,637	49,434	31.4	117,405
流動資産合計	2,337,352	2,582,928	245,575	9.5	2,553,115
<b>固定資産</b>					
1.有形固定資産	76,241	96,829	20,587	21.3	88,116
2.無形固定資産	53,505	34,274	19,231	56.1	33,152
3.投資その他の資産	1,185,157	853,194	331,962	38.9	965,543
(1)敷金保証金	164,674	164,857	183	0.1	164,448
(2)長期性預金	600,000	300,000	300,000	100.0	400,000
(3)賃貸用不動産	185,166	185,166	-	-	185,166
(4)その他	235,317	203,171	32,145	15.8	215,928
固定資産合計	1,314,905	984,298	330,606	33.6	1,086,812
資産合計	3,652,258	3,567,226	85,031	2.4	3,639,927
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
1.買掛金	17,836	9,136	8,699	95.2	44,163
2.短期借入金	84,000	109,000	25,000	22.9	46,000
3.未払法人税等	27,641	12,234	15,407	125.9	5,502
4.賞与引当金	83,001	74,502	8,499	11.4	144,000
5.その他	131,848	104,364	27,484	26.3	93,254
流動負債合計	344,327	309,237	35,090	11.4	332,920
<b>固定負債</b>					
1.役員退職慰労引当金	166,381	168,730	2,349	1.4	166,255
固定負債合計	166,381	168,730	2,349	1.4	166,255
負債合計	510,708	477,967	32,741	6.9	499,175
<b>(資本の部)</b>					
<b>資本</b>	477,300	477,300	-	-	477,300
<b>資本剰余金</b>					
1.資本準備金	587,341	587,341	-	-	587,341
資本剰余金合計	587,341	587,341	-	-	587,341
<b>利益剰余金</b>					
1.利益準備金	25,000	25,000	-	-	25,000
2.任意積立金	407,281	410,922	3,640	0.9	410,922
3.四半期(当期)未処分利益	1,638,745	1,586,236	52,509	3.3	1,637,971
利益剰余金合計	2,071,027	2,022,158	48,868	2.4	2,073,893
<b>その他有価証券評価差額金</b>	5,881	2,459	3,422	139.2	2,216
資本合計	3,141,549	3,089,259	52,290	1.7	3,140,752
負債資本合計	3,652,258	3,567,226	85,031	2.4	3,639,927

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	1,743,657	1,746,334	2,677	0.2	2,373,906
売上原価	1,332,218	1,286,866	45,351	3.5	1,754,283
売上総利益	411,439	459,467	48,028	10.5	619,623
販売費及び一般管理費	337,576	396,598	59,022	14.9	473,187
営業利益	73,862	62,869	10,993	17.5	146,436
営業外収益	6,353	2,712	3,641	134.3	7,865
営業外費用	1,756	35,213	33,456	95.0	35,533
経常利益	78,460	30,367	48,092	158.4	118,768
特別利益	-	25,027	25,027	100.0	25,027
特別損失	156	24,184	24,027	99.4	24,587
税引前四半期(当期)純利益	78,303	31,210	47,092	150.9	119,208
税金費用	29,970	16,711	13,258	79.3	52,973
四半期(当期)純利益	48,333	14,499	33,833	233.3	66,234
前期繰越利益	1,590,412	1,571,736	18,675	1.2	1,571,736
四半期(当期)未処分利益	1,638,745	1,586,236	52,509	3.3	1,637,971

### 3. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	78,303	31,210	119,208
減価償却費	32,059	37,363	50,692
固定資産除却損	156	5,853	6,256
賞与引当金の増減額(減少：)	60,999	68,498	1,000
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)	126	45,330	47,805
受取利息及び受取配当金	4,053	326	3,281
支払利息	767	833	1,055
新株発行費	-	20,044	20,044
株式公開費用	-	13,255	13,255
投資有価証券売却益	-	25,027	25,027
売上債権の増減額(増加：)	19,010	273,109	183,665
仕入債務の増減額(減少：)	26,326	65,389	30,363
未払金の増減額(減少：)	457	6,024	6,547
未収消費税等の増減額(増加：)	1,453	-	1,453
未払消費税等の増減額(減少：)	14,505	34,265	35,421
役員賞与の支払額	-	7,000	7,000
その他	13,889	36,235	10,180
小 計	68,436	166,044	248,460
利息及び配当金の受取額	4,053	326	3,273
利息の支払額	772	832	1,051
法人税等の支払額	651	174,090	170,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,065	8,552	80,063
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	200,000	300,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	7,268	38,035	38,860
無形固定資産の取得による支出	32,227	11,285	14,763
投資有価証券の取得による支出	5,099	4,737	6,236
投資有価証券の売却による収入	-	54,950	54,950
敷金保証金の差入による支出	-	37,232	37,232
敷金保証金の返還による収入	-	78,070	78,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	244,595	258,269	364,071
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入れによる収入	230,000	260,000	260,000
短期借入金の返済による支出	192,000	197,000	260,000
配当金の支払額	50,858	42,800	42,800
株式発行による収入	-	749,815	749,815
株式公開による支出	-	13,255	13,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,858	756,760	693,760
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	186,387	489,938	409,752
現金及び現金同等物の期首残高	1,647,714	1,237,961	1,237,961
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,461,326	1,727,900	1,647,714